



## ■「bGo (ビーゴー)」について

姫路市では、平成28年度から3カ年で、播磨圏域連携中枢都市圏（姫路市、相生市、加古川市、赤穂市、高砂市、加西市、宍粟市、たつの市、稲美町、播磨町、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町）各市町の公共交通機関のバス停や鉄道駅から観光地までを自転車でつなぐ、「はりまクラスター型サイクルスタイル」の構築を推進しています。

平成28年度は、地元の交通事業者と連携して、サイクルエイドステーションの整備やサイクリングのモデルとなるコースを検証するなど、播磨地域でのサイクリングをサポートするための取り組みを実施いたしました。

このような取り組みを広く発信するため、この度、新しくロゴが登場いたしました。今後もこのロゴとともに様々な取り組みの展開を予定していますので、ぜひ、みなさま、「はりま」へサイクリングにお越しください。

## コンセプトについて

播州（播磨の別称）や自転車（bicycle、bike）の頭文字の「b」と、「自転車で播州の観光地を巡ろう」というメッセージを込めた「Go」という単語を組み合わせたものです。

シンボルマークは、車輪や自転車のフレーム、自転車がパーキングに駐輪している様子などをイメージしながらオリジナルのデザインを考案いたしました。シンボルマークを90度回転するとbicycleの「b」、鏡文字にするとparkingの「p」に見えるように設計しています。

デザイン [GRAPH 北川一成]